

市長メッセージ 一般高齢者のワクチン接種体制の強化について

令和3年5月14日

市民の皆さん、市長の徳永繁樹です。

感染拡大に歯止めをかけるべく移行しました「感染対策期」であります
が、大型連休に伴う人流にも大きな影響を受けまして、いまだ連日、複数の
新規陽性確認が続いております。

今治市では、引き続き愛媛県と今治市医師会など関係機関としっかりと
連携し、厳戒態勢で対応してまいります。

市民の皆さまにおかれましては、「不要不急の外出自粛」や「会食時の
注意」、「感染対策期」の期間中は、引き続き、感染回避を優先していただ
いて、人との接触をできる限り避けていただくよう、最大限の警戒とご協力を
お願いします。

《新型コロナウイルスワクチン接種について》

さて、ワクチン接種についてであります。5月10日(月)からワクチン接
種の予約受付を開始させていただきました。残念なことに、そして大変申
し訳ないことですが、予約が殺到したため、コールセンターなど電話
が集中し非常につながりにくい状況となって、市民の皆様には大変ご不
便をおかけいたしました。まずもってお詫び申し上げたいと思います。

次回の予約は、もう既にご案内をしておりますが、来週5月17日(月)
の13時から実施することといたしております。今回からは1週間分では
なく、7月10日接種分までの予約を集団接種分を含め、受け付けること
ができますよう準備を進めております。

前回の予約状況を考えますと、できればご家族の方に協力していただくなど、インターネットやLINEでお申し込みいただければと思います。また、持病のある方、またかかりつけ医以外で接種をご希望なされる方は、事前に、かかりつけ医にご相談していただければと思います。

次に集団接種についてでございます。今治市では接種スピードをアップするため、集団接種を6月14日(月)から実施いたします。まずは中央保健センターとワールドプラザの2つの会場で実施し、集団接種によって、一日に接種できる人数をこれまで以上に増やすことができると考えています。

今治市医師会あるいは各医療機関の皆さまには、それぞれの病院等で実施していただいております個別接種に加えて、通常の診察も行いながら集団接種も行っていただく等、大きなご負担になろうと思っております。私自身が昨日医師会の先生方に直接市民の皆さんの命を守るのは、医師会の皆さんの仕事であり、そして市役所の仕事であるという思いを訴えさせていただきました。市民の命・健康を守っていくためと強い使命感を共有させていただいた次第であり、最大限の感謝を申し上げたいと思います。

なお、予約開始日等詳細につきましては、私の記者会見、あるいはホームページやSNS、ラジオ放送などで速やかに情報発信に努めてまいりますので、もうしばらくお待ちいただければと思います。

《今治市の接種が5月25日からになったことについて》

今治市では、お年を召された方、高齢者のワクチン接種が5月25日

(火)からとなっています。他の町ではもう始まっているのに、どうして今治市では遅いのか、そんな声も寄せていただいております。

今治市においては、医療従事者の方の安全確保のために、医療従事者の方が最低1回は接種を終える予定の日であること、そしてクラスターのこれまでの発生など高い確率でそういう状況を生み出さないためにも高齢者施設の入所者等の皆さん方を優先して実施することとしたため、5月25日となったものです。

《希望者全員に新型コロナウイルスワクチン接種ができることについて》

一日も早くワクチンを受けたい、接種をしていただきたいという市民の皆さんのお気持ちも大変身に染みて理解いたしております。予約が取れなかった場合はしばらくお待ちいただくこととなりますが、希望する方、すべての方に新型コロナウイルスワクチンは供給されます。どうぞご安心いただきますよう、心から願います。

国におきましては、7月末までに高齢者の方へのワクチン接種の完了を目指すと言われております。もちろん今治市におきましても7月末までに何としても、総力を結集してでも、高齢者の皆さんの接種が終わるよう計画を強力に進めてまいりたいと思います。このため、7月末までにすべての高齢者の皆さんに接種ができるワクチンの供給は確約をいただいております。先程から繰り返しお話をしていますように、市内医療機関の皆様のご協力のもと、医療機関での個別接種に加え、集団接種を実施し、接種のスピードアップを図ってまいります。何卒、ご了承いただきますよう、改めて願います。

《変異株の解析結果》

次に、市民の皆さんもご不安に、そしてご心配いただいております変異株のことについてお話をさせていただきます。

昨日、県立衛生環境研究所の四宮所長から解析結果が発表されました。今治で確認された「E484K」は、以前から関東や東日本を中心に、国内で4,000例以上確認され、最近では西日本でも広く確認されているそうです。

この変異株は、海外から移入したとみられていますが、起源については不明であります。また、「感染力の強さ」や「重症化になりやすいのではないか」とさまざまな声をいただいておりますけれども、現時点では確定できるものではないものの、比較的従来株に近い性質を持っており、県内で多く確認されてまいりました「N501Y」よりは、リスクの低い変異株であると分類されているようです。

感染の広がりから、現在、国立感染症研究所においてゲノム解析により実態の把握に努められていると話をされておりました。

四宮所長の解説によりますと、今回、今治で確認された「E484K」は新たに県外から持ち込まれた可能性が高く、10株中7株は全く同じ系列であり、残りの3株も極めて近いということでありまして、共通の感染源から市内に広がった可能性があるという説明されています。

そうした解析結果でありますので、すべての市民の皆さん、特に県外・市外と往来があった方、そして県外や市外からこの今治にお越しになった家族や友人の皆さんと接した方、こうした方々は「もしかしたら、自分も感染しているかもしれない」という意識を持って、可能な限り、人との接触を減らすよう努めていただきたい、自分の周りに配慮した行動を引き続き徹

底していただきたいとお願いします。

現在、県内では依然として陽性者数は高止まりで推移し、医療現場の負担等も含め、まだまだ予断を許さない状況が続いております。また、今治市におきましても、従来型よりも感染力が強い変異株が主流になっていることも考えられており、どこでクラスターが発生しても不思議ではない、まさに市中感染、市中まん延という状況でございます。

これ以上の感染拡大に歯止めをかけ、感染の収束に向かわせていくためには、市民の皆さま一人一人の行動変容が何よりも必要です。

「感染対策期」の期間中、あと2週間です。決して気を緩めることをなさらずに、感染回避行動を徹底して、取り組んでいただきますよう、市長として心からお願い申し上げます。

市民の皆さま、どうぞこの第4波を何としても乗り越えていかなければなりません。どうぞよろしく願いいたします。